



## 智恵の 種 子

### 最も新奇な遊戯

英國では近頃石鹼玉で種々な遊戯を演ずるとが流行つて参り、これが爲めに俱樂部杯も組織されて居りますが、兒童の遊戯としては至極面白い趣向と思はれますから左に紹介します

▲遊戯の用具 先づ石鹼玉の遊戯に要する設備の事からお話すると、第一に大きな卓子をラバー製の敷布を以て蔽ひます、これは卓子が石鹼水の爲めに汚損されない用意であります、次に一個乃至二個の麥藁の管と、一個のクレーパイプと、大きな異ふ一個乃至二個の漏斗と、細い針金製の輪とが要ります、この遊戯の藝當の旨く行くと行かないとは、専ら石鹼の液の出来加減に因りますのですが、其石鹼液を旨く調合するには先づ微温い水を鉢に取つて善い石鹼を其中に溶かして居りますと其内に粘りの強い泡が出来ます、この石鹼の泡を匙で抄ひ取て出来加減を試験するのであります、最初に先づ直径一吋大の石鹼玉を試に吹いて置て、豫め石鹼の液で濡した指を以て其玉に觸つて見て、若し其玉が潰えなかつたなら夫れで遊戯の用に立つてです、又若し爛つて見て潰える様であるなら石鹼をもつと融かして粘を強くするのです。

石鹼の液の準備が出来たならば、決して其泡をかき混ぜてはなりません、若し其れをかき混ぜ様ものなら、決して面白い立派な光

景を見ることは出来ません、この石鹼玉の遊戯を面白くするには、最優等者と最劣者とに褒賞を與へる杯も、一寸面白からうと思ひます、よく兒童が石鹼玉を吹いて、虹色が出たの、いや饒の玉は大いぞ杯と云つて喜びますが、英國の石鹼玉俱樂部の遊戯は中々あんなものでない、餘程面白い藝をやつて居るのですが、勿論それには随分手練が要るのであります。

▲半熟玉子の遊戯 先づ手解きに宜しい遊戯は「半熟玉子」と云ふのであります、それは硝子板の面に石鹼の融かしたのを少し零ぼして、麥藁の管を以て板面に恰好な半球形の泡を造る、別に煙草の泡を取つて置いて、更らに麥藁管を泡の中に突込んで半球形の泡を重ねて作つて、其中には空氣の代りに煙草の泡を充たすので、そうしますと、虹の七色を以て輝々光る大なる半球形の中に、美麗な白い容易に潰へさうにない半球形の泡を現はし、宛然半熟の卵の形を呈するのであります。

この「半熟玉子」を造るには、手と目を確り据えることが大切で、第一の半球形を吹いて第二の半球形を造るとき、麥藁管を抜て更らに其管を差込むには、思ひ切つて落ちてやらねば旨く行きませんこの技術が上手になりますと、二重の泡どころでなく極上手な人は最初の玉が潰へない中に、結局十二も重ねることが出来ると思はれます。

▲種々の花形 次に出来易いのは花の上に石鹼玉を見はす遊戯です、其方法は先づ花に石鹼の液を塗つて置くことが肝腎です、これをして置かないと、花の上に巧く石鹼玉が吹けません、普通の石鹼玉でも、烟入りの玉でも、花の裝飾に用ゐることが出来ます、若し其の石鹼の液の質が善く粘着力が強かつたならば、第一に吹いたの、消へない中に、十二乃至それ以上の「石鹼の花」を咲かすことが出来ます。

▲針金の輪で圓筒形 次に針金の輪の藝ですが、これも却々旨く行きます、それは硝子板の上に普通の半球形の玉を造へて置て、

其石鹼玉の外面と容易に粘着するだけの引力ある石鹼液に濕した針金の輪を以て、半球の泡を引き伸ばすと圓筒形が出来ます、又パイプで以て先づ石鹼玉を空中に吹いて置いて、石鹼を塗つた二個の輪を以て、其玉を引き伸ばすと、桶の様な形になります、楕圓形の石鹼玉を作るには、先づ針金の輪をば石鹼液に濕して、其輪の中に液を廣げて、其れかれ藁の管を以て吹きますと、二個の石鹼玉が密接して恰も圓にある様な楕圓形になります、技術が追々上手になると、この外に、自由に花を或は咲かせたり、或は凋めたりする藝や、又ほ小さな像や、其他の裝飾物に石鹼玉を吹かしたり、又は石鹼玉の中に車を廻らす等、種々の遊戯が出来ます。▲注意す可き點 是等の石鹼玉の遊戯をする者の忘れてはならぬのは、遊戯に用るパイプ、漏斗、麥藁管等をよく濕して置く事です、若し乾いた儘のパイプや麥藁管を吹いて石鹼玉を儘へやうとしても、又は乾いた板面の泡を他に移うとしても、其玉は屹度壞はれて了います、素人が巧手にするのを見て、ナニ譯はないと思つて試つて見ると功く行かない、其失敗の原因は是等の點に在るのであるから、最初からかゝる秘訣を漏らさない方が、却つて遂戯に興を加へて面白いのかも知れません。(完)

## 一人前の消費

▲米は日に三合宛 内地産の米が約五千萬石輸出を差引ると日本で消費せらるゝ米は五千五百五十萬石、之を割當てると一人一日の量が三合になる之は勿論酒にする部分も含んで居る

▲酒は各戸で晩酌一合一勺 清酒は内地で四百萬石造つて六千石輸出する外國からの飲料は百萬圓位であるから之を差引くと一人が年に八升飲む事になり、一家では四斗であるから各戸で晩酌なするとせば一合一勺宛となる夫で毎晩國家の爲二錢二厘の奉

公をして居る譯である。

▲麥酒は年に大樽一本 内地醸造の麥酒は年廿五萬石で外國へ出る者は三萬石、大分行はるゝ様になつたか年に四合四勺で月に割と一人で四勺しか飲んで居ない、

▲砂糖は一人で年八斤 大日本精糖で培へる製糖力が三億斤内外で横濱神戸の兩精糖のものを含すと年四億三千萬斤以上にもなる夫に我邦の精糖消費高は最近數年の平均で二億三四千萬斤、之を人口宛にするると一人で五斤しかない、砂糖の消費で文明の程度が判ると或者は云つたが、夫かと云つて日本の文明が五斤であるとは云へない内地産の粗糖が八千萬斤あるからは位は消費して居ると見ても差支なからふ日本の文明は先づ八斤位の處か

▲一人の煙草が年に卅匁 内國の葉煙草が千二百萬貫内百萬圓の卷煙草と六十萬斤の葉刻其他を輸出する又入つて來るものもあるから概略の所を示すと一人年三十匁になる

▲醬油は一人で年四升 醬油は二百七萬石であるから斯様な勘定になる。

▲鹽は一人で年に二十斤 内地産の鹽は十億斤輸出が二千萬斤輸入が二百萬斤一人宛に年に二十斤位となる。

▲一年の肉食二百匁 一年中に人の口に入る牛が十六萬頭三千九百萬斤、馬が七萬頭千二百萬斤、豚が十三萬頭一千百萬斤合計三十六萬頭六千二百萬斤一人が一年に食ふ肉は二百匁位となる

▲石油は一月一晩七勺 内地産の石油は百卅萬石であるが石油の消費額は年二百萬石と稱せらるゝから各戸に割當てると一晩一月七勺しかない夫も其筈であらう今でも山間へ行くと一月に二合位使つて居る様な家が二分進んだ方に屬する様な處があるから

\* \* \* \* \*